

事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課	
		実施期間	S59 ～	E-mail	kankyo-shinsa @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業については、事業者自らが、住民や関係自治体などの意見を聴きながら、事業が環境に与える影響について調査・予測・評価し、十分な環境保全のための措置が講じられるようにする必要がある。
 ・法対象1件及び条例対象2件について、環境影響評価手続を実施中である。また、リニア中央新幹線に係る事後調査報告書等について、審議を行っている。

2 事業目的

環境影響評価手続を通じ、大規模開発事業を行う事業者の環境保全への適正な配慮を推進し、もって本県の豊かな環境の保全に資する。

3 事業目的を達成するための取組

①環境影響評価図書の審査

環境保全への適正な配慮の推進のため、事業者から提出される環境影響評価図書について、内容を十分に審査するとともに、県環境影響評価技術委員会等から聴取した意見を基に、環境保全のための知事意見を事業者に通知する。

②リニア中央新幹線関連事業に対する助言

環境保全への適正な配慮の推進のため、リニア中央新幹線に係る環境調査並びにトンネル工事及び発生土置き場における環境保全等について、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知する。

4 成果指標

(推移の凡例 ♯ : 改善 ♮ : 悪化 → : 変化なし - : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1③	良好な生活環境保全の推進	該当なし										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	7,011	0	7,011	7,000	3,699	3.0
R4年度	0	7,200	0	7,200	7,194	5,061	3.0
R3年度	0	7,236	0	7,236	7,236	4,529	3.0

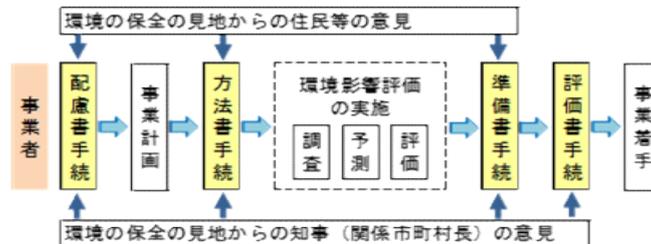
事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境審査事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課

7 主な取組実績と成果

①環境影響評価図書の審査

・対象となる環境影響評価図書の提出がなかったため、審査なし。

・環境影響評価方法書に対する知事意見に基づき都市計画決定権者からなされた中間報告1件（佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線）について、県環境影響評価技術委員会を1回開催し、環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知した。



②リニア中央新幹線関連事業に対する助言

・リニア中央新幹線に係るトンネル工事、橋りょう工事、発生土置き場等における環境保全の計画書4件及び令和4年度の環境調査の結果について、県環境影響評価技術委員会を3回開催し、環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R4年度推移	R5年度推移	達成状況

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・令和6年4月に提出された上田地域広域連合資源循環型施設整備事業の準備書や、今後提出見込みの佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線の準備書について、内容を十分に審査するとともに、環境影響評価技術委員会等の意見をもとに、環境保全のための知事意見を通知し、事業による環境影響の低減を図る必要がある。

・環境影響評価手続が終了した案件については、事業実施の完了まで、環境保全措置や事後調査に関する報告書等の審査により、環境影響評価の結果等が適切に事業に反映されていることを確認していく必要がある。

・リニア中央新幹線について、今後、県が通知した環境保全のための助言への対応方針の確認や、毎年取りまとめられる環境調査結果の審査等により、助言を踏まえて事業が実施されていることを確認していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

・環境影響評価の結果や県の助言等の事業への適切な反映について、環境保全措置や事後調査に関する報告書等を精査するとともに、環境影響評価技術委員会において報告書の内容等について議論し、必要に応じて事業者に追加の環境保全措置を求めていく。

事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	環境審査事業費	4,529 千円	5,061 千円	3,699 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	環境影響評価技術委員会の運営	直接	<p>環境影響評価技術委員会を開催し、佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線中間報告及びリニア中央新幹線関連事業に係る環境保全計画書について専門的・技術的な見地から審査を行うとともに、環境への影響を最大限回避・低減するよう事業者に求めることにより、大規模開発事業の環境配慮を推進した。</p> <hr/> <p>環境影響評価技術委員会の開催 4回</p>